



未来の先生展  
2017

# "悲しみを強さに変える"教育アプローチとは？ ～教員が飛び込んだ"被災地"と"こどもの貧困"のリアル～

パネルディスカッション講演形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 308号室

講演者 加賀 大資

## 内容

“生育環境に左右されない多様な教育アプローチとは ディスカッションを通しての思考の深化 ”

生まれ育つ環境を自分で選ぶことはできない。そんな生まれ育つ環境に左右されず、子どもの可能性を上げていくためには、どんな仕組みを設計し、大人たちはどう関わっていけばいいのか。

学校は 地域は 行政は 民間は 企業は

など様々なステークホルダーによる、子どもたちを支える方法を一緒に考えるワークショップです。

元中高の教員が飛び込んだ東日本大震災による被災地の放課後学校コラボ・スクールや、貧困の連鎖を断ち切る安全基地アダチベースの現場で出会った具体的なケース・メソッドを用いて、考えを深めていきます。

## ここに注目

「これまでのカタリバのアプローチとみなさんで考えるアプローチを融合しながら、新たなアプローチを考えましょう」

NPOカタリバは、東日本大震災の被災地で、6年間で1000人以上の子どもたちへ支援を届けました。

NPOカタリバは、困難な家庭環境の中で育つ子どもたちに、1年間で70人以上へ支援を届けました。

参加いただく多様な立場のみなさま全体で考える機会にします。「震災があったから...」「家がこうだから...」ではなく、「震災があったけど...」「家はこうだけど...」そんな逆説の文脈を創るために、悲しみを強さに変えていくために、多様な立場だからこそ考え得る教育アプローチを出し合ひましょう。

## 講演者プロフィール



加賀 大資 認定特定非営利活動法人カタリバ シニアマネジャー

(東京大学大学院教育学研究科 学術支援職員)

大学卒業後、東京都の私立中高一貫校にて英語の教員として働いた後、東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県大槌町に被災地の放課後学校『コラボ・スクール大槌臨学舎』を立ち上げるため、認定NPO法人カタリバの職員へ転身。その後立ち上げから2015年度までの4年間運営を担い、2016年度より、東京都足立区にて『複雑な家庭環境や貧困、孤独、発達の課題など困難を抱える子どもたち向けの居場所兼学習支援の拠点アダチベース』を立ち上げるため、東京に戻り、現在に至る。

## 講演者から参加者へのメッセージ

“生まれ育つ環境に子どもたちの可能性と希望を奪わせない”

記憶に新しい九州北部を襲った豪雨や、熊本地震。近々起こるであろうと言われていた南海トラフ大地震など、どこに住んでいようと、そしていつ何時であっても今の環境が永く続くことは保証されていません。

その時のたまたまや、生まれた環境のたまたまに左右されることなく、子どもたちが自分たちの未来に希望を持つことができるために、自分たちに何ができるのかを一緒に考えませんか。

これまでの具体的なケースから考えることで、これからの未来を考える

ヒントを見つけられることを目指します。

これから訪れるかもしれない未来に対して、ご参加いただく皆さんと一緒に準備ができればと思います。ぜひお越し下さい

